71VR1 用コンフィギュレータソフト
（形式：71VRCFG）
バージョン 3.03
取扱説明書

株式会社 エム・システム技研

NM-7403-C　改 13

目　次

1　はじめに 4

2　ご使用になる前に 4

2.1　機能概要 4

2.2　必要システム 4

2.3　71VRCFGと対応する 71VR1 のバージョンについて 4

3　メイン画面 5

4　赤外線通信 5

4.1　COP-IRDA 5

4.2　本体操作 5

5　通信設定 6

6　設定値 6

6.1　設定値の作成・読み出し 6
6.1.1　新規作成 6
6.1.2　読み出し（本体） 6
6.1.3　読み出し（ファイル） 6

6.2　設定画面 7
6.2.1　設定値ダイアログ 7
6.2.2　入力チャネル設定ダイアログ（71VR1-N001 / 101 をお使いの場合） 10
6.2.3　入力チャネル設定ダイアログ（71VR1-N501 をお使いの場合） 12
6.2.4　出力チャネル設定ダイアログ 14
6.2.5　ペン設定ダイアログ 15
6.2.6　トリガ設定ダイアログ 16
6.2.7　アナログ警報設定ダイアログ 17
6.2.8　デジタル警報設定ダイアログ 18
6.2.9　自動画面切替設定ダイアログ 19
6.2.10　本体バージョン選択ダイアログ 20

7　トレンドデータファイル 21

7.1　一覧取得・ファイル読み出し 21
7.1.1　概要 21
7.1.2　保存先設定 21
7.1.3　ファイル読み出し 22

7.2　CSV変換 22
7.2.1　概要 22
7.2.2　保存先設定 22

7.2.3　ファイル選択・変換 23

8　警報ログ 26

8.1　読み出し（本体） 26

8.2　読み出し（ファイル） 26

8.3　CSV保存 27

9　変更点のお知らせ 29

9.1　バージョン 2.0 から 2.01 への変更点 29

9.2　バージョン 2.01 から 2.02 への変更点 29

9.3　バージョン 2.02 から 3.01.〇〇 への変更点 29

9.4　バージョン 3.01. 〇〇 から 3.02.〇〇 への変更点 29

9.5　バージョン 3.02. 〇〇 から 3.03.〇〇 への変更点 29

1　はじめに

このたびは、エムシステム技研のチャートレス記録計（形式：71VR1）をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本取扱説明書は、71VR1（71VR1-N001／71VR1-N101／71VR1-N501）用コンフィギュレータソフト(形式：71VRCFG)の機能を十分に使用していただくためのパソコン環境、ソフトの操作方法を記述しています。用語の詳細な説明は、71VR1取扱説明書をご参照ください。

71VRCFG は 71VR1 のパラメータを容易に且つスムーズに設定できます。また、トレンドデータ・警報ログを赤外通信にて取り出し、CSV 形式ファイルに変換します。

2　ご使用になる前に

2.1　機能概要

各種設定機能	入出力チャネル、ペン、トリガ、警報に関する設定が可能です。 71VR1 の設定情報を読み込んで画面表示したり、71VRCFG で設定した設定情報を本体 71VR1 に書き込むことが可能です。また、設定情報をファイルとしてパソコンのハードディスク等に保存しておくことも可能です。
トレンドデータファイルの作成	赤外線通信もしくはメモリカードにてトレンドデータファイル（.71VR）を CSV 形式に変換します。
警報ログファイルの作成	赤外線通信もしくはメモリカードにて警報ログファイル（71VR_Alarm.alm）を CSV 形式に変換します。

2.2　必要システム

パソコン本体	IBM PC/AT 互換機
OS	WindowsXP SP3 以降、Windows VISTA、Windows 7 Professional （注）全ての環境での動作を保証するものではありません。
ディスプレイの解像度	1024×768 ドット以上
表示色	65000 色（16 ビット High color）
USB ポート	COP-IRDA を用いて本体と赤外線通信を行う場合は、USB ポートを使用します。

2.3　71VRCFG と対応する 71VR1 のバージョンについて

本取扱説明書は、71VR1-N001、71VR1- N101 ファームウェアのメジャーVer1、マイナーVer6.01 以上、71VR1-N501 ファームウェアのメジャーVer1、マイナーVer6.01 以上に対応しています。

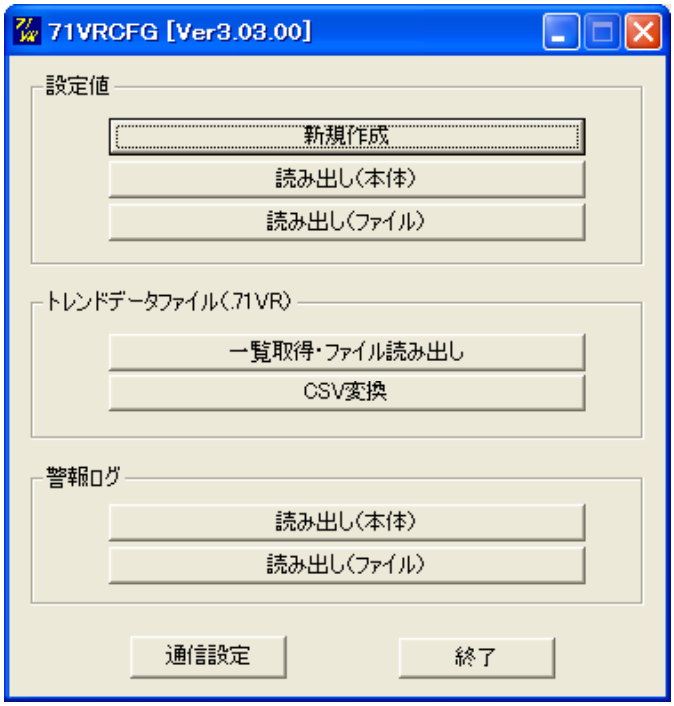
71VR1 のバージョンによって、対応する項目が変わります。対応する項目を記号で表していますので、下表をご参照下さい。

71VR1 のバージョンの確認方法については、71VR1 取扱説明書をご参照ください。

記号	71VR1 バージョン
1.4	71VR1-N001、71VR1-N101、71VR1-N501 メジャーVer1、マイナーVer4.01 以上
1.6	71VR1-N001、71VR1-N101、71VR1-N501 メジャーVer1、マイナーVer6.01 以上

3　メイン画面

71VRCFG.exe のアイコンをダブルクリックすると 71VRCFG が起動し、以下の画面を表示します。



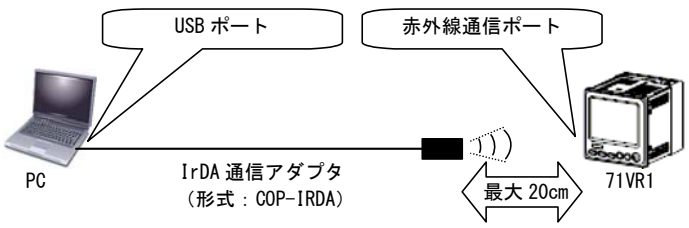
大項目	小項目	説　　明
設定値	新規作成	設定値ファイルを初期値で新規作成します。
	読み出し（本体）	赤外線経由で本体から設定情報を読み出します。
	読み出し（ファイル）	本体にてメモリカードに保存した設定値ファイルを読み出します。
トレンドデータファイル（.71VR）	一覧取得・ファイル読み出し	赤外線経由にて本体からメモリカード中のトレンドデータファイル一覧を取得し、選択したファイルを取り出します。
	CSV 変換	71VR1 から取り出したトレンドデータファイルを CSV 形式に変換します。
警報ログ	読み出し（本体）	赤外線経由にて本体から警報ログを取り出し表示します。 CSV 変換し保存することもできます。
	読み出し（ファイル）	本体メモリカードに保存された警報ログファイルを読み出します。 CSV 変換し保存することもできます。
通信設定		使用する COM ポートを選択します。

4　赤外線通信

4.1　COP-IRDA

71VR1 と赤外線通信を行うためには、弊社製品（形式：COP-IRDA）が必要となります。COP-IRDA を使うには、パソコンにドライバをインストールする必要があります。COP-IRDA 本体およびドライバのインストールについては、COP-IRDA の取扱説明書を参照ください。

ドライバが正しくインストールされると、COP-IRDA は COM ポートに割り付けられます。

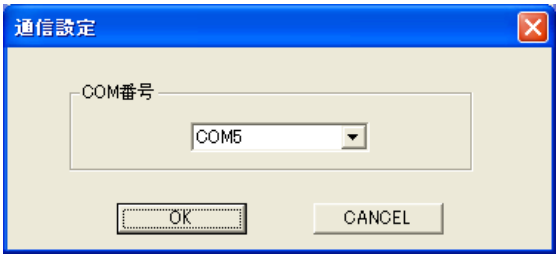


4.2　本体操作

71VRCFG と 71VR1 とは赤外線で通信するため、71VR1 が複数並んだ場合でも混信しないよう、1 台だけを赤外線通信可能に設定してください。71VR1 を赤外線通信可能にするためには、本体にボタン操作が必要になります。本体の取扱説明書を参照ください。

5　通信設定

COP-IRDA が割り付けられた COM ポートを、COM1～COM20 の中から選択します。



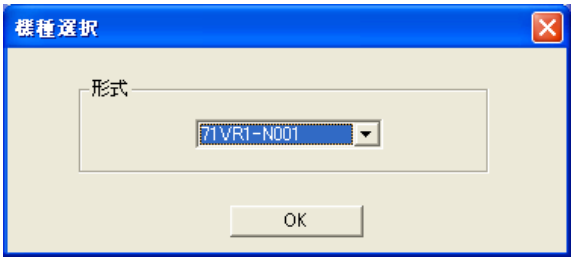
6　設定値

6.1　設定値の作成・読み出し

6.1.1　新規作成

設定値を新規作成する場合、本体形式を選択します。その後、初期値にて設定画面が表示されます。

- 71VR1-N001
- 71VR1-N101
- 71VR1-N501



6.1.2　読み出し（本体）

本体を赤外線通信可能な状態にし、【読み出し（本体）】ボタンをクリックすると設定情報を読み出した後、設定画面が表示されます。

6.1.3　読み出し（ファイル）

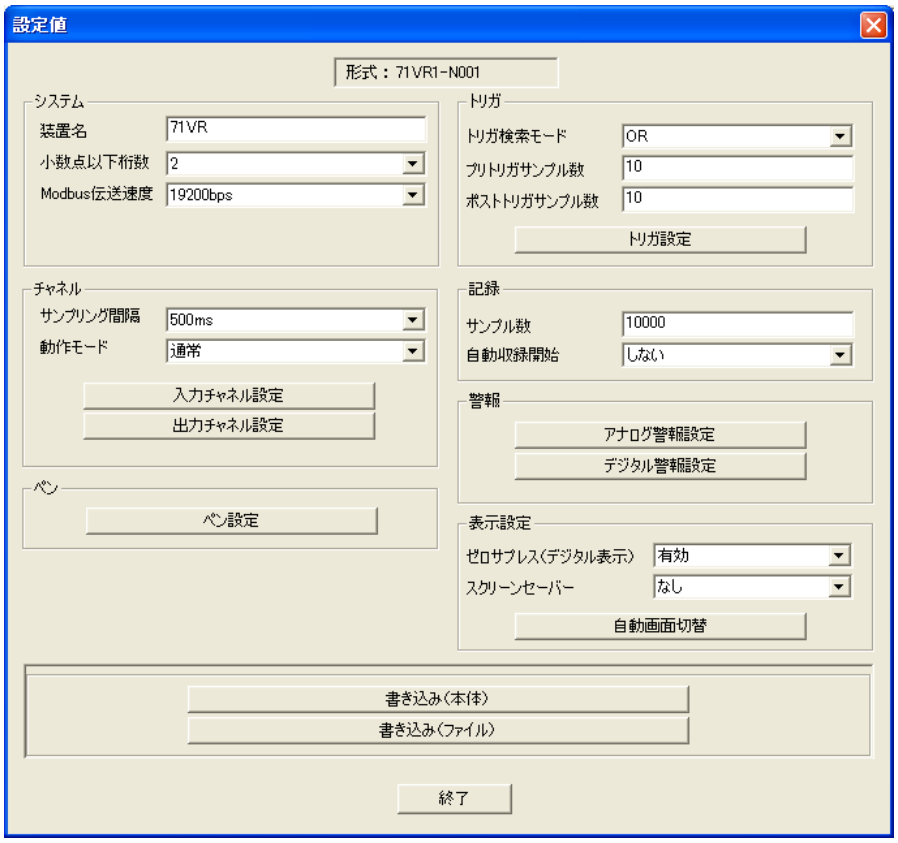
本体キー操作にてメモリカードに保存した設定ファイルを読み出した後、設定画面が表示されます。

6.2　設定画面

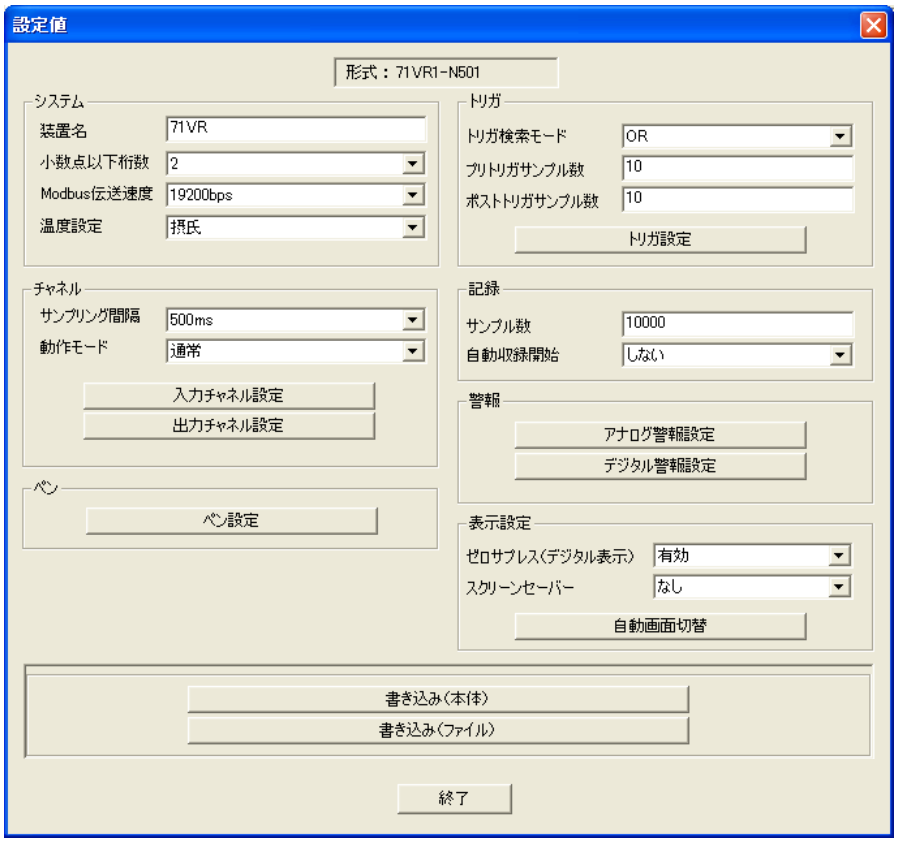
6.2.1　設定値ダイアログ

下記画面が表示されます。

71VR1-N001/N101 をお使いの場合



71VR1-N501 をお使いの場合



【書き込み】

項　　目	説　　明
書き込み(本体)	本体を赤外線通信可能な状態にし、【書き込み(本体)】ボタンをクリックすると設定情報を本体に転送します。
書き込み(ファイル)	本体のバージョンを選択して、設定情報をファイルに保存します。 ※メモリカードにファイルを保存し、本体操作にてメモリカードから設定を読み出す場合、下記ファイル名で保存してください。 71VR1-N001/N101 をお使いの場合：¥71VR¥71VR0000.cfg 71VR1-N501 をお使いの場合：¥71VRU¥71VR0000.cfg

【システム】

項　　目	説　　明
装置名	半角・全角を問わず 16 文字以内で設定します。トレンドデータおよび警報ログを CSV 変換した時に出力されます。
小数点以下桁数	トレンド表示・デジタル表示時の小数点以下の表示桁数を設定します。 選択範囲：0～3
Modbus 伝送速度	Modbus の伝送速度を設定します。 選択：4800bps／9600bps／19200bps／38400bps
温度設定 （71VR1-N501 の場合のみ表示）	71VR1-N501 でチャネルに熱電対または測温抵抗体を設定した場合、温度単位を設定します。 選択：摂氏／華氏／絶対温度 温度単位は、入力チャネル設定のアナログチャネルレンジ、アナログ警報設定の領域上限値、トリガ設定のレベルに影響します。このため、温度設定を変更したとき、これらを使用しているチャネルが熱電対、測温抵抗体の場合、不使用となります。

【チャネル】

項　　目	説　　明
サンプリング間隔	サンプリング間隔を設定します。 選択：100ms／200ms／500ms／1s／2s／5s／10s／20s／30s／1min／5min／10min／20min／30min／1hour ※71VR1-N501 でチャネルに熱電対または測温抵抗体を設定した場合、500ms 以上を選択して下さい。 ※サンプリング間隔「20s／30s／1min／5min／10min／20min／30min／1hour」⇒ 1.4
動作モード	運用時は「通常」にしますが、「デモ」に設定しデモ波形を出すこともできます。 選択：通常／デモ
入力チャネル設定	入力チャネル設定ダイアログを開きます。
出力チャネル設定	出力チャネル設定ダイアログを開きます。

【ペン】

項　　目	説　　明
ペン設定	ペン設定ダイアログを開きます。

【トリガ】

項　　目	説　　明
トリガ検出モード	3 つのトリガ条件を組み合わせる方法を選択します。 選択：OR／AND
プリトリガサンプル数	プリトリガサンプル数を設定します。 設定範囲：0～99
ポストトリガサンプル数	ポストトリガサンプル数を設定します。 設定範囲：0～99
トリガ設定	トリガ設定ダイアログを開きます。

【記録】

項　　目	説　　明
サンプル数	ファイル分割するサンプル数を設定します。 設定範囲：1000～60000
自動収録開始	自動収録のモードを選択します。 選択：トリガ収録開始／連続収録開始／しない

【警報】

項　　目	説　　明
アナログ警報	アナログ警報設定ダイアログを開きます。
デジタル警報	デジタル警報設定ダイアログを開きます。

【表示設定】

項　　目	説　　明
ゼロサプレス（デジタル表示） 1.4	デジタル表示画面で表示値が 9 桁に満たない場合に表示値の前を 0 で埋める／埋めないを設定します。 選択：無効（0 で埋める）／有効（0 で埋めない）
スクリーンセーバー 1.6	スクリーンセーバーが起動するまでの時間を設定します。 設定範囲：なし／1 分／2 分／5 分／10 分
自動画面切替 1.4	自動画面切替設定ダイアログを開きます。

6.2.2　入力チャネル設定ダイアログ（71VR1-N001 / 101 をお使いの場合）

【アナログ入力の場合】

項　　目	説　　明
入力チャネル	設定する入力チャネルを選択します。 選択：AI1～AI8
物理チャネル	入力チャネルに割り付ける物理チャネルを設定します。 71VR1-N001　選択：Modbus／なし 71VR1-N101　選択：Ai1／Ai2／Modbus／なし
入力タイプ	71VR1-N101 で Ai1 または Ai2 を選択した場合は、入力タイプを選択します。 選択：-10～10V／-5～5V／-1～1V／-20～20mA
ノード番号	物理チャネルで Modbus を選択した場合は、ノード番号を設定します。 設定範囲：1～247
アドレス	物理チャネルで Modbus を選択した場合は、アドレスを設定します。 設定範囲：1～9999
Modbus ファンクション 1.4	物理チャネルで Modbus を選択した場合は、Modbus ファンクションを設定します。 選択：Read Holding Register (03)／Read Input Register (04) ※SC200、SC210 と通信する場合のみ、「Read Holding Register (03)」を設定してください。
レンジ	トレンド表示時の左端、右端になる値をレンジとして設定します。 端子台入力の場合：各入力タイプの範囲内で小数点以下 3 桁まで Modbus の場合：－32768～32767 の整数
スケール	レンジ範囲に対応する一次値を小数点以下 3 桁までで設定します。 設定範囲：-999999.999～999999.999
工業単位	半角・全角を問わず 4 文字以内で設定します。
タグ名	半角・全角を問わず 8 文字以内で設定します。

【デジタル入力の場合】

項　　目	説　　明
入力チャネル	設定する入力チャネルを選択します。 選択：DI1～DI8
物理チャネル	入力チャネルに割り付ける物理チャネルを設定します。 選択：Di1／Di2／Modbus／なし
ノード番号	物理チャネルで Modbus を選択した場合は、ノード番号を設定します。 設定範囲：1～247
アドレス	物理チャネルで Modbus を選択した場合は、アドレスを設定します。 設定範囲：1～9999
Modbus ファンクション 1.4	物理チャネルで Modbus を選択した場合は、Modbus ファンクションを設定します。 選択：Read Coil Status (01) ／Read Input Status (02) ※SC200、SC210 と通信する場合のみ、「Read Coil Status (01)」を設定してください。
タグ名	半角・全角を問わず 8 文字以内で設定します。

6.2.3　入力チャネル設定ダイアログ（71VR1-N501 をお使いの場合）

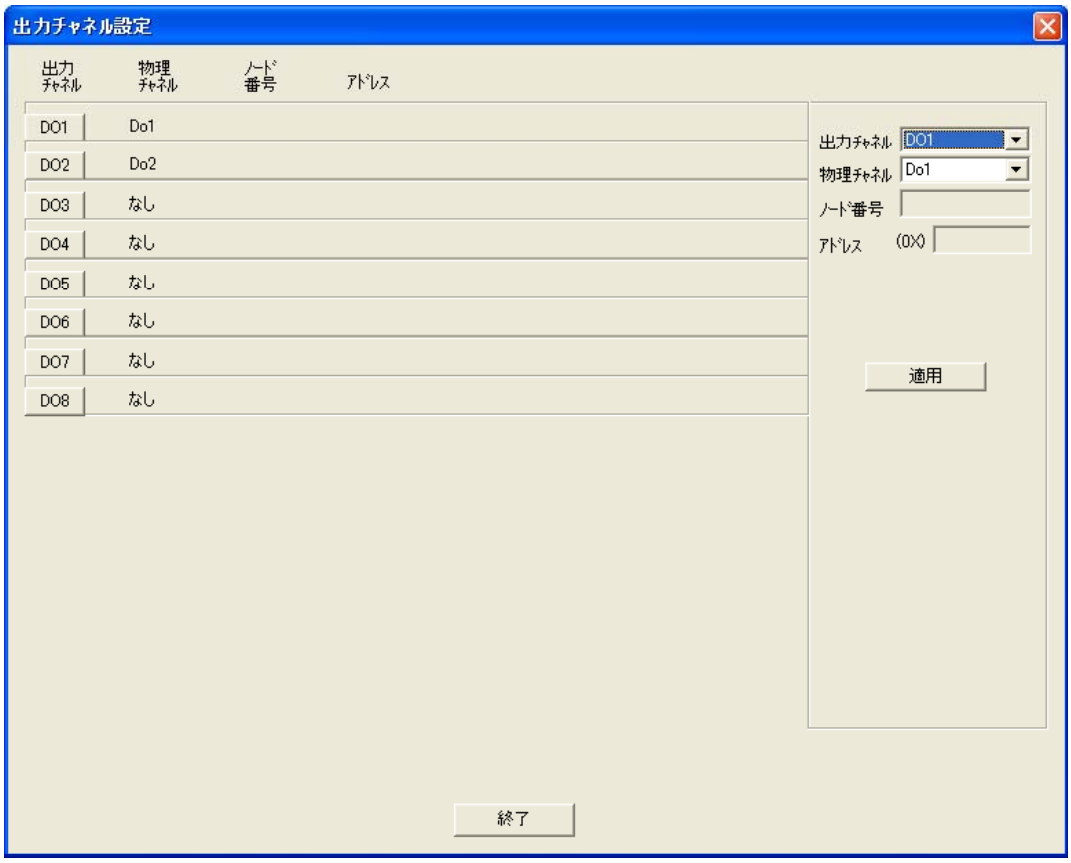
【アナログ入力の場合】

項　　目	説　　明
入力チャネル	設定する入力チャネルを選択します。 選択：AI1～AI8
物理チャネル	入力チャネルに割り付ける物理チャネルを設定します。 選択：Ai1／Ai2／Ai3／Ai4／Ai5／Modbus／なし
入力種別	ユニバーサル入力端子（Ai3、Ai4、Ai5）を選択した場合、入力種別を設定します。 選択：直流(DC)／熱電対(T/C)／測温抵抗体(RTD) 直流入力端子(Ai1、Ai2)を選択した場合、設定不可となります。
入力タイプ	直流入力端子（Ai1、Ai2）を選択した場合と、入力種別で直流を選択した場合 選択：-10～10V／-5～5V／-1～1V／-20～20mA 入力種別で熱電対を選択した場合 選択：K／E／J／T／B／R／S／C／N／U／L／P／PR 入力種別で測温抵抗体を選択した場合 選択：Pt100(JIS'97,IEC)／Pt100(JIS'89)／JPt100(JIS'89)／Pt50(JIS'81)／Ni100／Cu10／Cu50
ノード番号	物理チャネルで Modbus を選択した場合は、ノード番号を設定します。 設定範囲：1～246
アドレス	物理チャネルで Modbus を選択した場合は、アドレスを設定します。 設定範囲：1～9999
Modbus ファンクション 1.4	物理チャネルで Modbus を選択した場合は、Modbus ファンクションを設定します。 選択：Read Holding Register (03) ／Read Input Register (04) ※SC200、SC210 と通信する場合のみ、「Read Holding Register (03)」を設定してください。
レンジ	トレンド表示時の左端、右端になる値をレンジとして設定します。 端子台入力の場合：各入力タイプの範囲内で小数点以下 3 桁まで Modbus の場合：－32768～32767 の整数
スケール	Modbus または直流入力端子を選択した場合、スケールを設定します。 レンジ範囲に対応する一次値を小数点以下 3 桁までで設定します。 設定範囲：-999999.999～999999.999 熱電対、測温抵抗体を選択した場合、スケールは設定不可となります。
工業単位	半角・全角を問わず 4 文字以内で設定します。
タグ名	半角・全角を問わず 8 文字以内で設定します。
冷接点補償	入力種別で熱電対を選択した場合、冷接点補償を設定します。 選択：ON／OFF

【デジタル入力の場合】

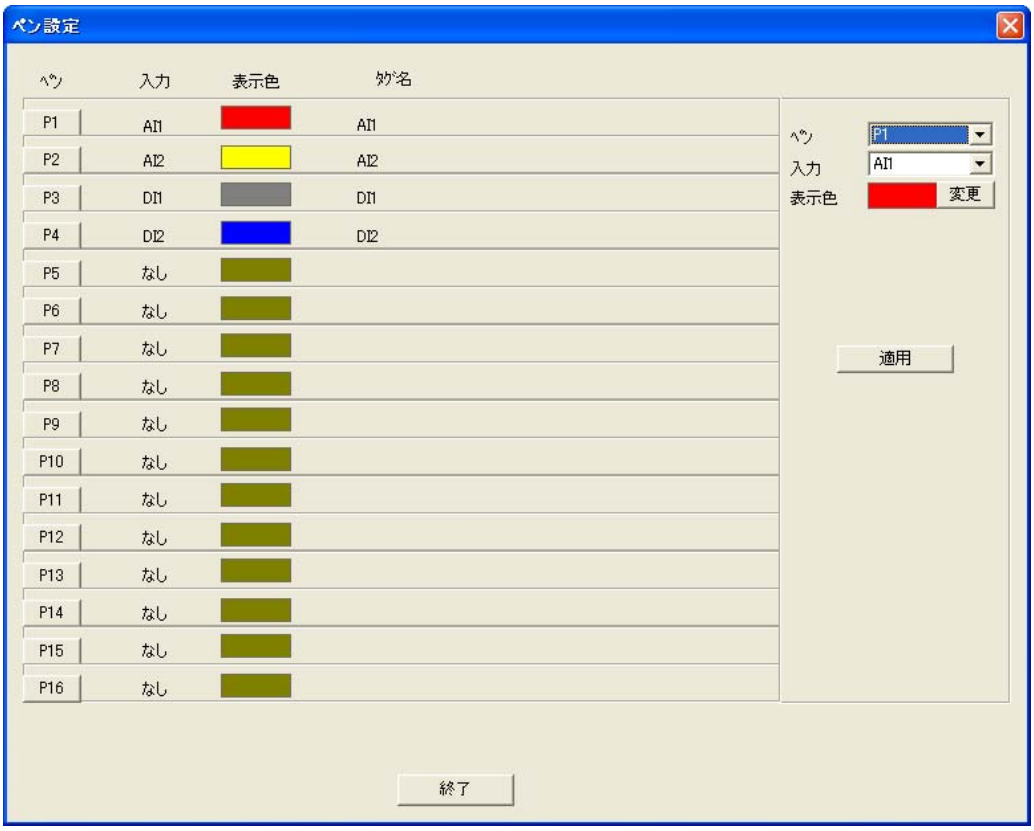
項　　目	説　　明
入力チャネル	設定する入力チャネルを選択します。 選択：DI1～DI8
物理チャネル	入力チャネルに割り付ける物理チャネルを設定します。 選択：Di1／Di2／Modbus／なし
ノード番号	物理チャネルで Modbus を選択した場合は、ノード番号を設定します。 設定範囲：1～246
アドレス	物理チャネルで Modbus を選択した場合は、アドレスを設定します。 設定範囲：1～9999
Modbus ファンクション 1.4	物理チャネルで Modbus を選択した場合は、Modbus ファンクションを設定します。 選択：Read Coil Status (01) ／Read Input Status (02) ※SC200、SC210 と通信する場合のみ、「Read Coil Status (01)」を設定してください。
タグ名	半角・全角を問わず 8 文字以内で設定します。

6.2.4　出力チャネル設定ダイアログ



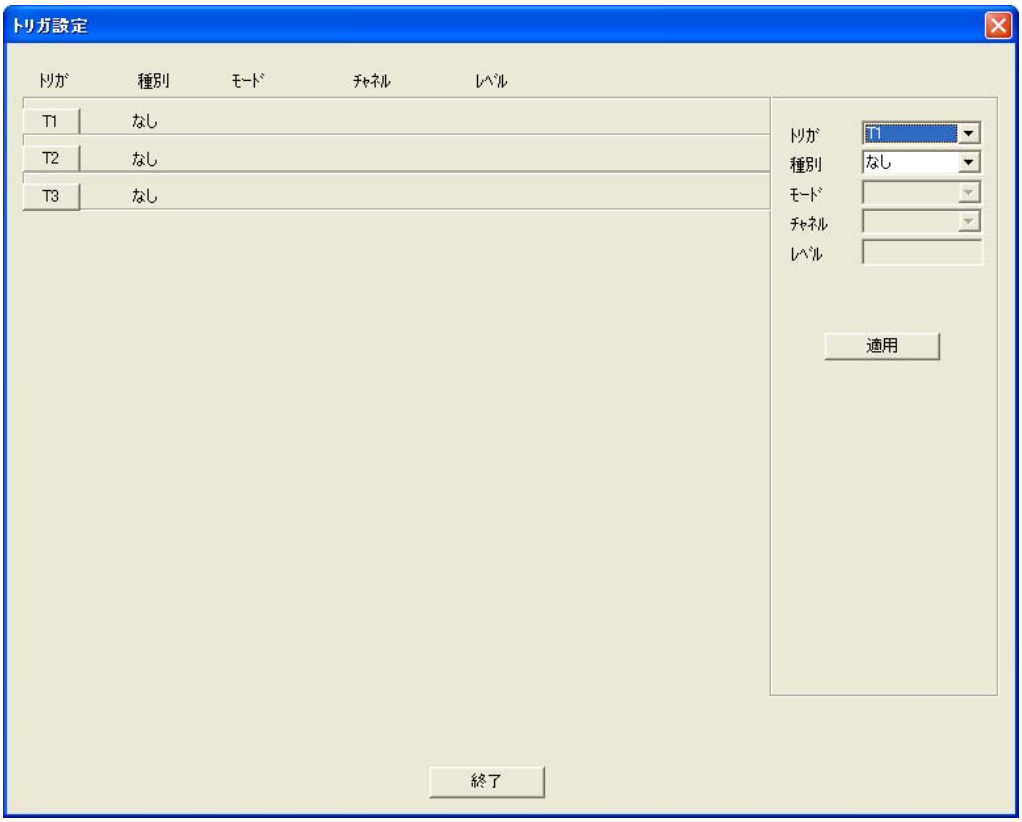
項　　目	説　　明
出力チャネル	設定する出力チャネルを選択します。 選択：DO1～DO8
物理チャネル	出力チャネルに割り付ける物理チャネルを設定します。 選択：Do1／Do2／Modbus／なし
ノード番号	物理チャネルで Modbus を選択した場合は、ノード番号を設定します。 設定範囲：1～247 ※71VR1-N501 をお使いの場合、設定範囲は 1～246 となります。
アドレス	物理チャネルで Modbus を選択した場合は、アドレスを設定します。 設定範囲：1～9999

6.2.5　ペン設定ダイアログ



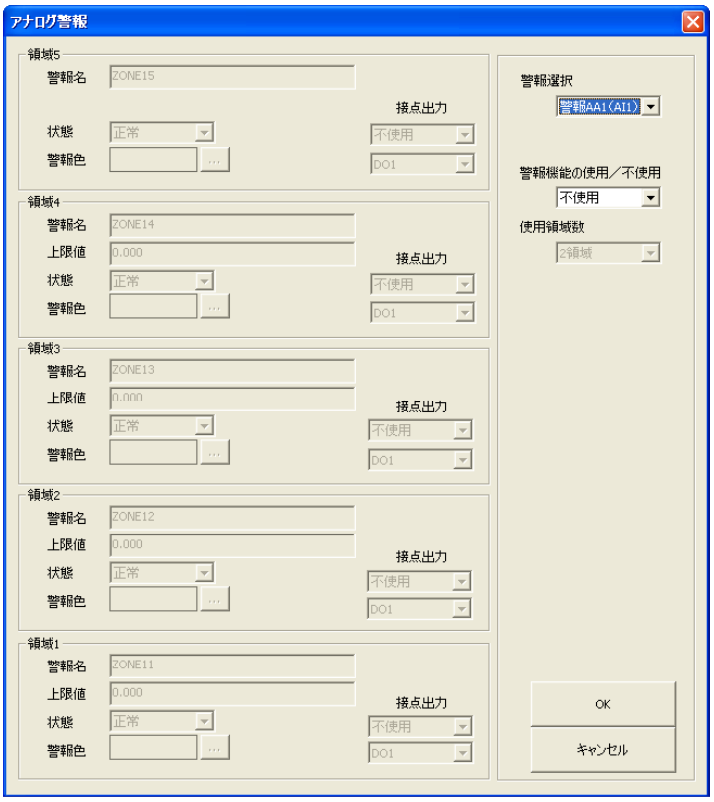
項　　目	説　　明
ペン	設定するペンを選択します。 選択：P1～P16
入力	使用チャネルが一覧に表示されます。 選択：AI1～AI8、DI1～DI8
表示色	下記色選択ダイアログにて選択します。

6.2.6　トリガ設定ダイアログ



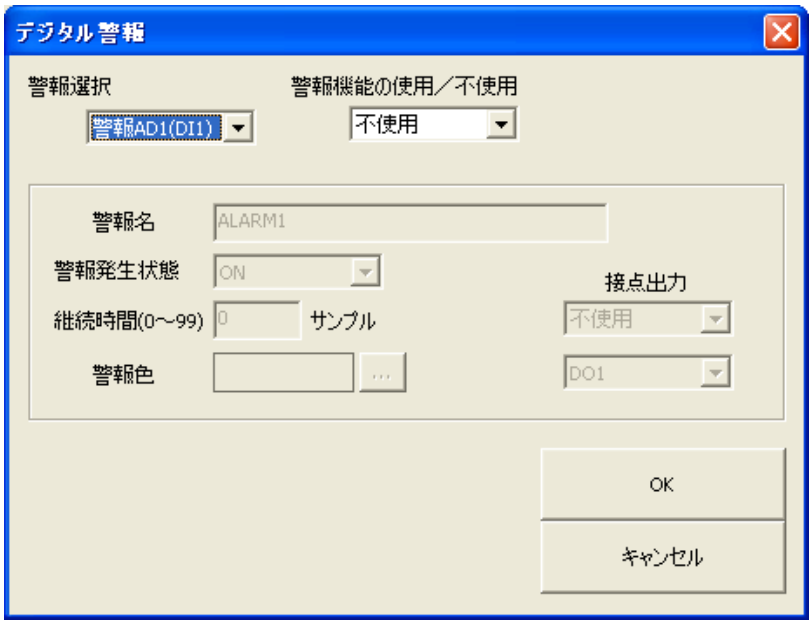
項　　目	説　　明
トリガ	設定するトリガを選択します。 選択：T1～T3
種別	トリガ種別を設定します。 選択：DI エッジ／DI レベル／AI エッジ／AI レベル／なし
モード	トリガモードを設定します。 種別が DI エッジもしくは DI レベルの場合：ON／OFF 種別が AI エッジもしくは AI レベルの場合：UNDER／OVER
チャネル	入力チャネル設定ダイアログで設定した論理チャネルを用いて設定します。 使用チャネルが一覧に表示されます。 種別が DI エッジもしくは DI レベルの場合：DI1～DI8 種別が AI エッジもしくは AI レベルの場合：AI1～AI8
レベル	種別が AI エッジもしくは AI レベルの場合、トリガレベルを実量値にて設定します。小数点以下 3 桁まで設定可能です。

6.2.7　アナログ警報設定ダイアログ



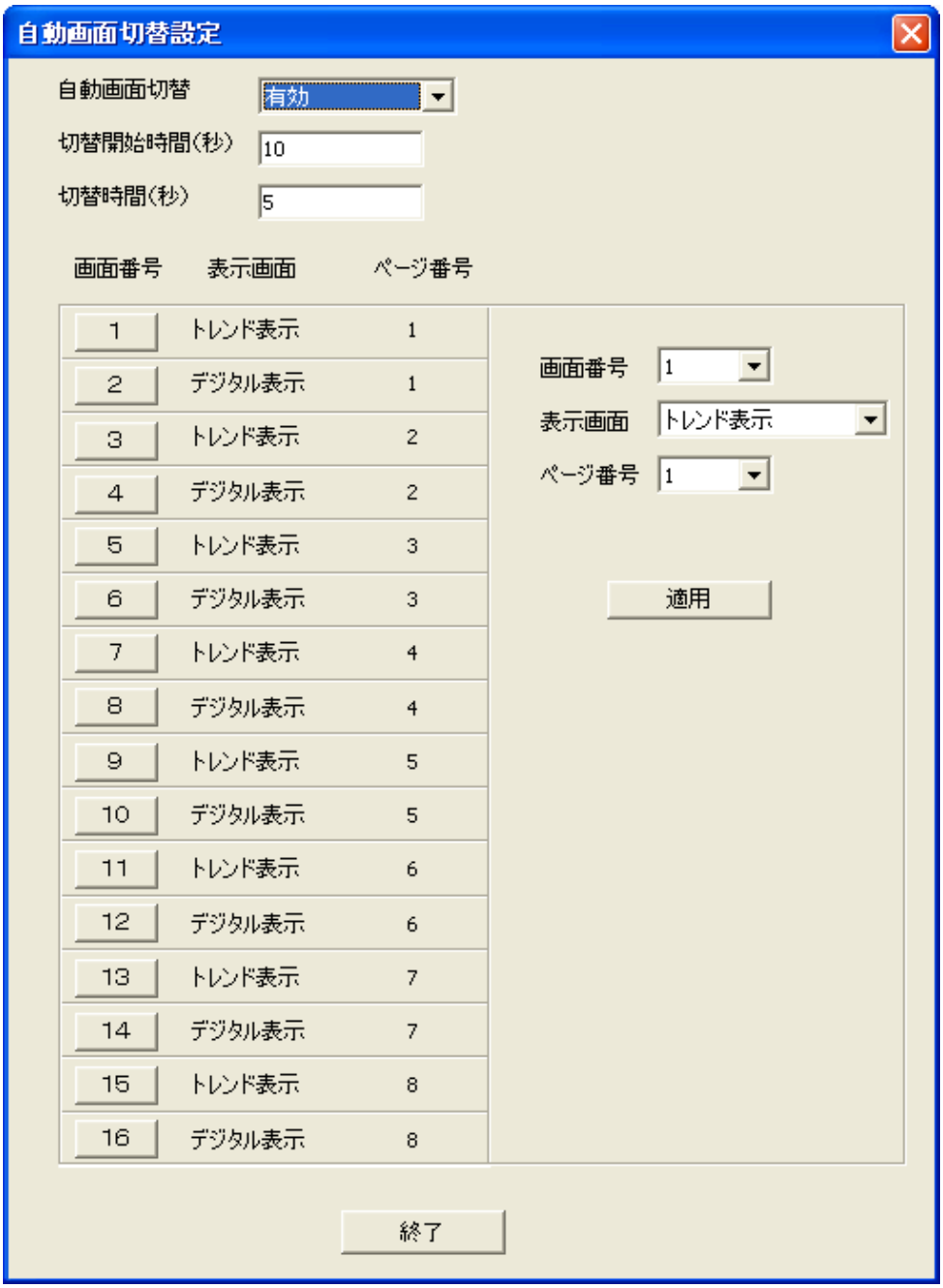
項　　目	説　　明
警報選択	設定する警報を選択します。チャネル設定された警報が一覧に表示されます。 選択：AA1～AA8
警報機能の使用／不使用	選択した警報の使用／不使用を設定します。 選択：不使用／使用
使用領域数	使用する領域数を設定します。 選択：2～5
警報名	警報名称を半角・全角問わず 10 文字以内で設定します。
上限値	最上位領域を除いて、その領域の上限値を実量値にて設定します。小数点以下 3 桁まで設定可能です。
状態	領域の状態を設定します。保持に設定可能な場合は、「保持」も一覧に表示されます。 選択：正常／異常／保持
警報色	下記ダイアログにて、異常の場合の表示色を設定します。
接点出力	領域の状態を異常に設定した場合、警報接点出力に関する設定を行います。 選択：不使用／使用 使用の場合：DO1～DO8 から選択（使用中の DO のみを表示）

6.2.8　デジタル警報設定ダイアログ



項　　目	説　　明
警報選択	設定する警報を選択します。チャネル設定された警報が一覧に表示されます。 選択：AD1～AD8
警報機能の使用／不使用	選択した警報の使用／不使用を設定します。 選択：不使用／使用
警報名	警報名称を半角・全角問わず 10 文字以内で設定します。
警報発生状態	ON／OFF のどちらが警報発生状態なのかを設定します。 選択：ON／OFF
継続時間	警報発生／解除を判断するまでの状態継続時間をサンプル数にて設定します。 設定：0～99
警報色	下記ダイアログにて、異常の場合の表示色を設定します。
接点出力	警報接点出力に関する設定を行います。 選択：不使用／使用 使用の場合：DO1～DO8 から選択（使用中の DO のみを表示）

6.2.9　自動画面切替設定ダイアログ 1.4



項　　目	説　　明
自動画面切替	自動画面切替機能の無効／有効を設定します。 有効を選択すると、自動画面切替設定以外の設定項目の編集が可能になります。 選択：無効／有効
切替開始時間（秒）	自動画面切替を開始する時間を設定します。 設定：10～180
切替時間（秒）	自動画面切切替中に次の画面を表示するまでの時間を設定します。 設定：3～180
画面番号	自動画面切替を開始したときに、この番号順で画面を自動表示します。 選択：1～16
表示画面	自動画面切替で表示する画面を選択します。 選択：なし／トレンド表示／デジタル表示
ページ番号	自動画面切替で表示する画面のページ番号を選択します。 選択：1～8

6.2.10　本体バージョン選択ダイアログ

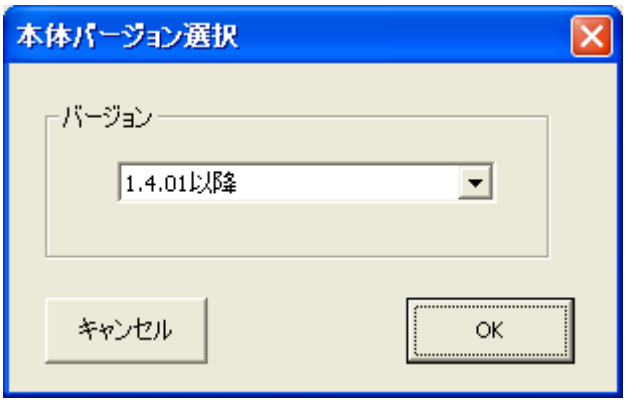
「書き込み（ファイル）」ボタンを選択した時に表示されます。

設定ファイルを適用する本体のバージョンを選択してください。

メイン画面で選択した設定値のボタンによって、最初に選択されているバージョンが違いますので、下表を参照してください。

※ バージョンは、本体「設定メニュー」の「装置情報」で確認してください。詳しくは、71VR1 操作用取扱説明書を参照ください。

※ バージョンは「メジャーVer」と「マイナーVer」の組み合わせになっています。「メジャーVer」が「1」、「マイナーVer」が「4.01」の場合、「1.4.01」と表示します。



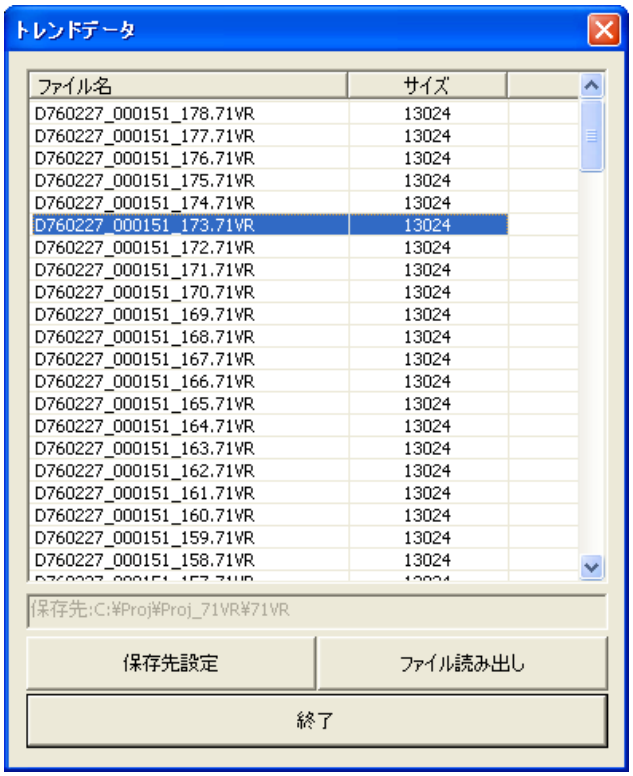
メイン画面で選択したボタン	最初に選択されているバージョン
新規作成	1.4.01 以降
読み出し（本体）	読み出した本体のバージョン
読み出し（ファイル）	ファイルに保存されているバージョン

7　トレンドデータファイル

7.1　一覧取得・ファイル読み出し

7.1.1　概要

本体からトレンド波形一覧を取り出すと、以下の画面が表示されます。

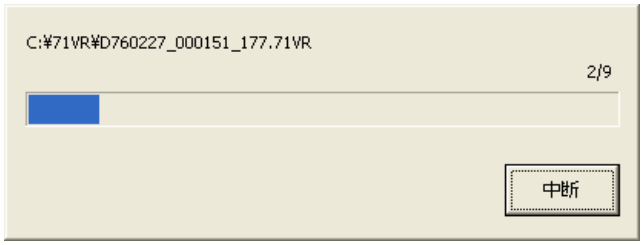


7.1.2　保存先設定

はじめに、受信したトレンドファイルを保存するパスを設定してください。【保存先設定】ボタンをクリックすると、下記画面が表示されるので、パス設定を行います。

7.1.3　ファイル読み出し

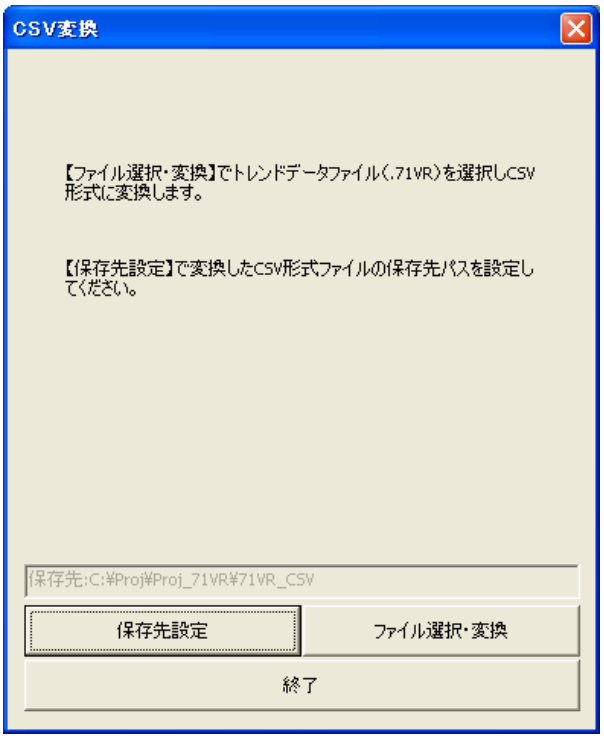
一覧から転送するファイルを選択し【ファイル読み出し】ボタンをクリックすると、下記画面を表示しファイル転送を開始します。受信したファイルは上記「保存先設定」にて設定したフォルダに保存されます。



7.2　CSV 変換

7.2.1　概要

メインダイアログより【CSV 変換】ボタンをクリックすると、以下のダイアログが表示されます。

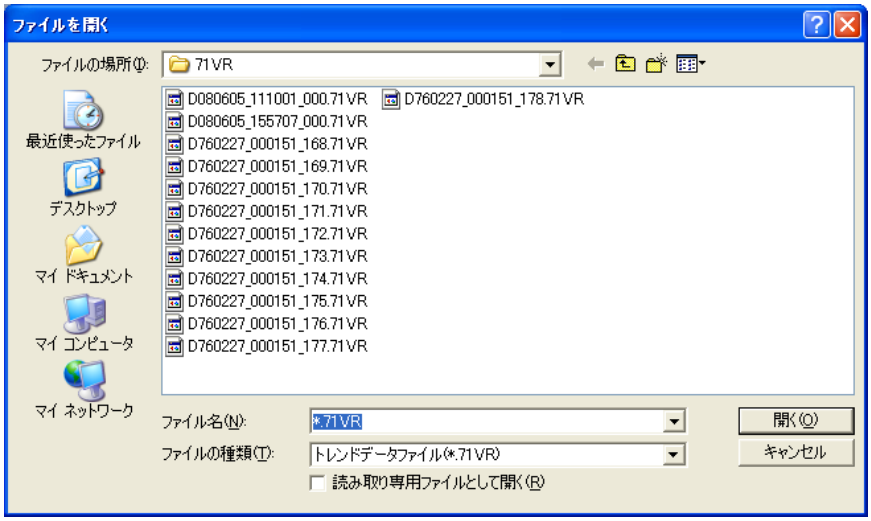


7.2.2　保存先設定

はじめに、変換後の CSV ファイルを保存するパスを設定してください。【保存先設定】ボタンをクリックすると、下記画面が表示されるので、パス設定を行います。

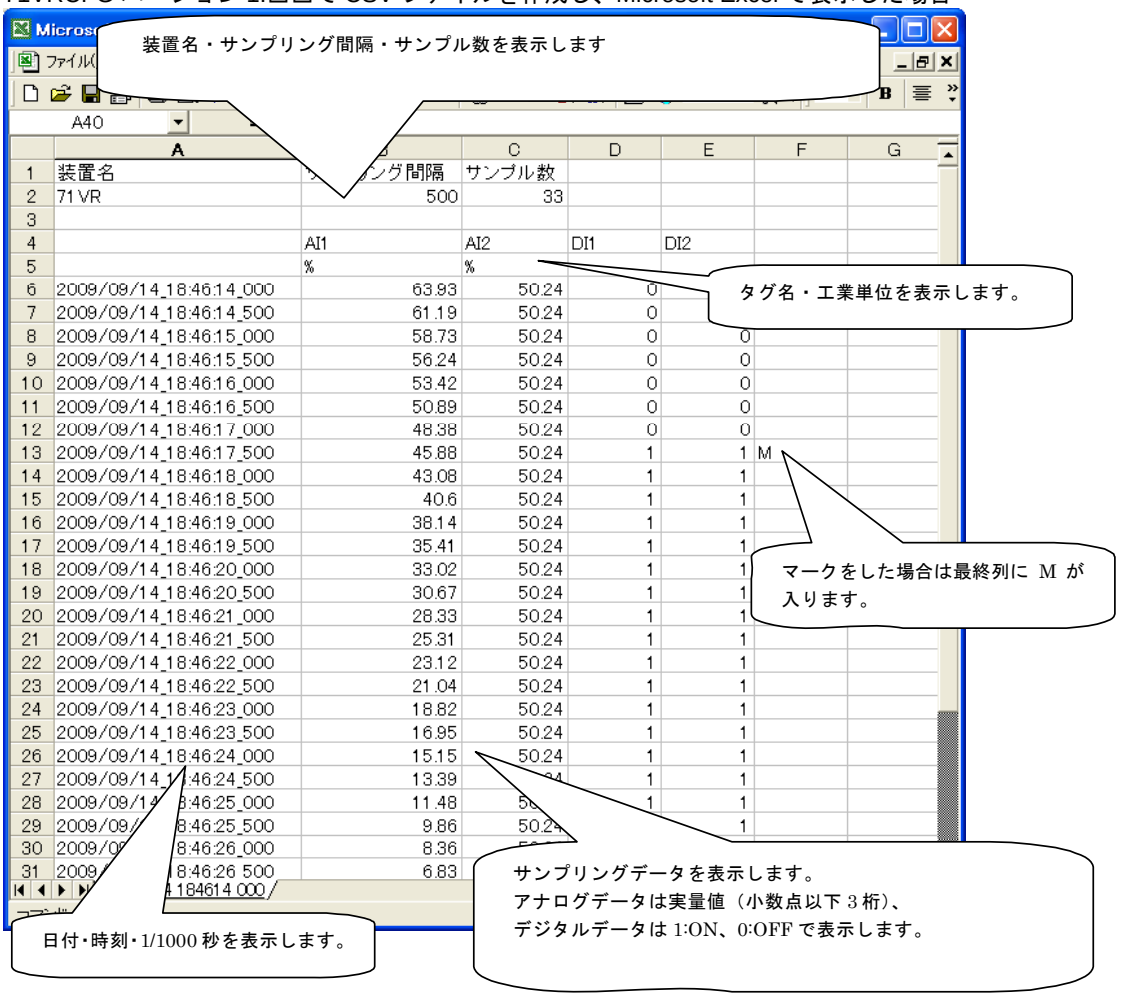
7.2.3　ファイル選択・変換

【ファイル選択・変換】ボタンをクリックすると、以下のダイアログが表示されるので、変換するファイルを選択（複数可）し、【開く】ボタンをクリックすると CSV 変換を開始します。変換後の CSV ファイルは上記「保存先設定」にて設定したフォルダに保存されます。



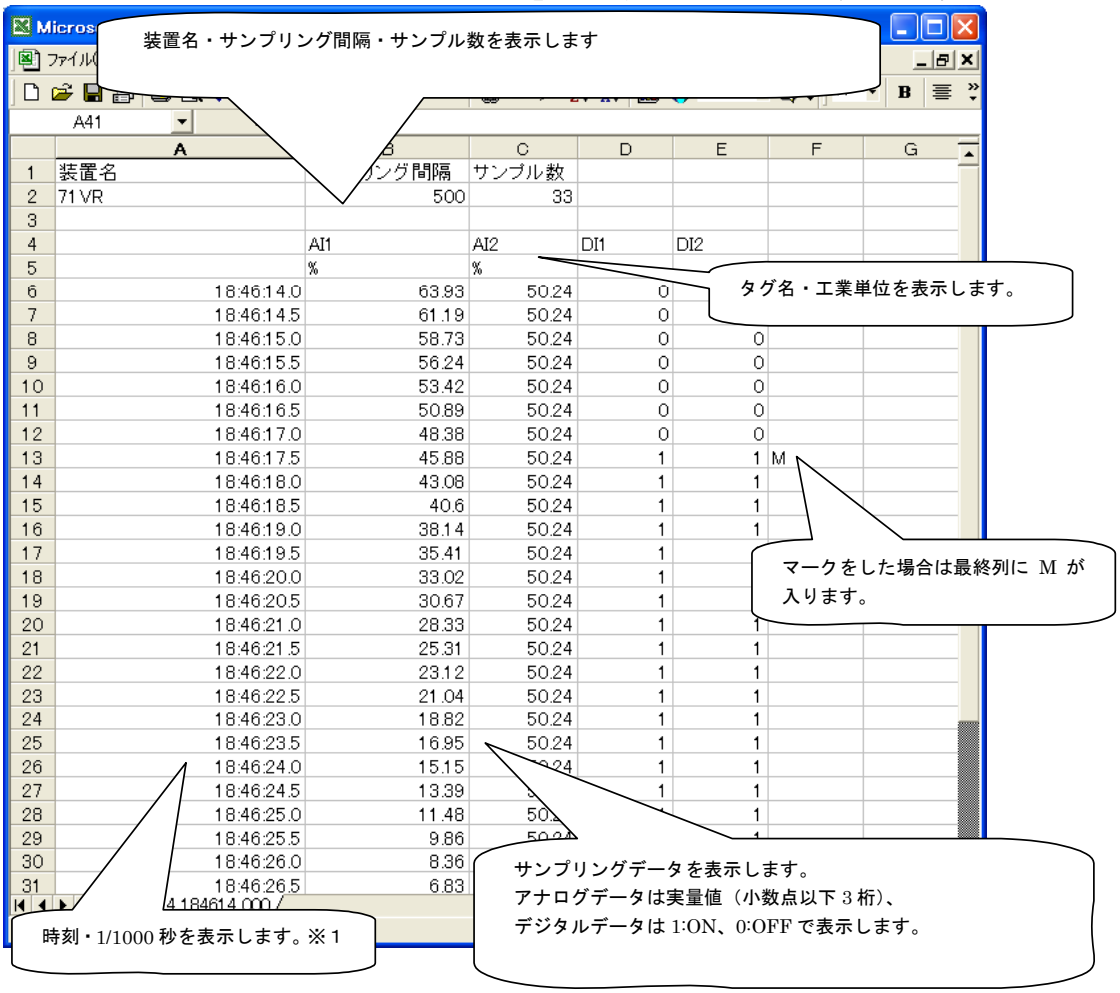
【71VR-N001 / 101 をお使いの場合】

71VRCFG バージョン 1.□□で CSV ファイルを作成し、Microsoft Excel で表示した場合



	A	B	C	D	E	F	G
1	装置名	ング間隔	サンプル数				
2	71VR	500	33				
3							
4		AI1	AI2	DI1	DI2		
5		%	%				
6	2009/09/14_18:46:14_000	63.93	50.24	0			
7	2009/09/14_18:46:14_500	61.19	50.24	0			
8	2009/09/14_18:46:15_000	58.73	50.24	0	0		
9	2009/09/14_18:46:15_500	56.24	50.24	0	0		
10	2009/09/14_18:46:16_000	53.42	50.24	0	0		
11	2009/09/14_18:46:16_500	50.89	50.24	0	0		
12	2009/09/14_18:46:17_000	48.38	50.24	0	0		
13	2009/09/14_18:46:17_500	45.88	50.24	1	1	M	
14	2009/09/14_18:46:18_000	43.08	50.24	1	1		
15	2009/09/14_18:46:18_500	40.6	50.24	1	1		
16	2009/09/14_18:46:19_000	38.14	50.24	1	1		
17	2009/09/14_18:46:19_500	35.41	50.24	1	1		
18	2009/09/14_18:46:20_000	33.02	50.24	1	1		
19	2009/09/14_18:46:20_500	30.67	50.24	1	1		
20	2009/09/14_18:46:21_000	28.33	50.24	1	1		
21	2009/09/14_18:46:21_500	25.31	50.24	1	1		
22	2009/09/14_18:46:22_000	23.12	50.24	1	1		
23	2009/09/14_18:46:22_500	21.04	50.24	1	1		
24	2009/09/14_18:46:23_000	18.82	50.24	1	1		
25	2009/09/14_18:46:23_500	16.95	50.24	1	1		
26	2009/09/14_18:46:24_000	15.15	50.24	1	1		
27	2009/09/14_18:46:24_500	13.39		1	1		
28	2009/09/14_18:46:25_000	11.48	50	1	1		
29	2009/09/14_18:46:25_500	9.86	50.24		1		
30	2009/09/14_18:46:26_000	8.36					
31	2009/09/14_18:46:26_500	6.83					

71VRCFG バージョン 2.00 以降で CSV ファイルを作成し、Microsoft Excel で表示した場合

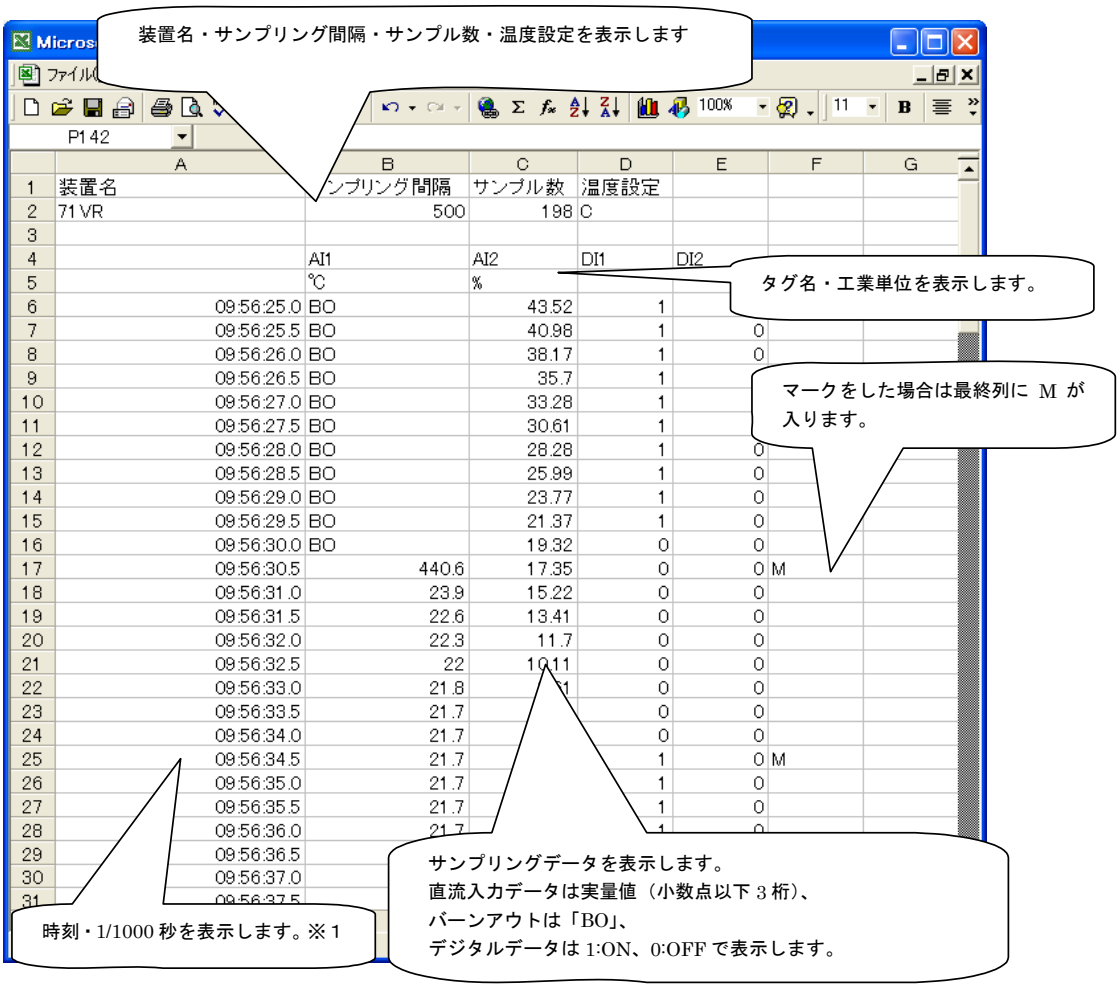


	A	B	C	D	E	F	G
1	装置名	ング間隔	サンプル数				
2	71 VR	500	33				
3							
4		AI1	AI2	DI1	DI2		
5		%	%				
6	18:46:14.0	63.93	50.24	0			
7	18:46:14.5	61.19	50.24	0			
8	18:46:15.0	58.73	50.24	0	0		
9	18:46:15.5	56.24	50.24	0	0		
10	18:46:16.0	53.42	50.24	0	0		
11	18:46:16.5	50.89	50.24	0	0		
12	18:46:17.0	48.38	50.24	0	0		
13	18:46:17.5	45.88	50.24	1	1	M	
14	18:46:18.0	43.08	50.24	1	1		
15	18:46:18.5	40.6	50.24	1	1		
16	18:46:19.0	38.14	50.24	1	1		
17	18:46:19.5	35.41	50.24	1			
18	18:46:20.0	33.02	50.24	1			
19	18:46:20.5	30.67	50.24	1			
20	18:46:21.0	28.33	50.24	1	1		
21	18:46:21.5	25.31	50.24	1	1		
22	18:46:22.0	23.12	50.24	1	1		
23	18:46:22.5	21.04	50.24	1	1		
24	18:46:23.0	18.82	50.24	1	1		
25	18:46:23.5	16.95	50.24	1	1		
26	18:46:24.0	15.15	50.24	1	1		
27	18:46:24.5	13.39	50.24	1	1		
28	18:46:25.0	11.48	50.24	1	1		
29	18:46:25.5	9.86	50.24	1	1		
30	18:46:26.0	8.36	50.24	1	1		
31	18:46:26.5	6.83	50.24	1	1		

※1　CSV ファイルを Microsoft Excel で表示する場合、時刻を表示しているセルの表示形式を変更することで、「年/月/日 時:分:秒.ミリ秒（yyyy/mm/dd hh:mm:ss.000）」などのフォーマットで表示することができます。

【71VR-N501 をお使いの場合】

Microsoft Excel で CSV ファイルを表示した場合



	A	B	C	D	E	F	G
1	装置名	ンプリング間隔	サンプル数	温度設定			
2	71 VR	500	198	C			
3							
4		AI1	AI2	DI1	DI2		
5		℃	%				
6	09:56:25.0	BO	43.52	1			
7	09:56:25.5	BO	40.98	1	0		
8	09:56:26.0	BO	38.17	1	0		
9	09:56:26.5	BO	35.7	1			
10	09:56:27.0	BO	33.28	1			
11	09:56:27.5	BO	30.61	1			
12	09:56:28.0	BO	28.28	1	0		
13	09:56:28.5	BO	25.99	1	0		
14	09:56:29.0	BO	23.77	1	0		
15	09:56:29.5	BO	21.37	1	0		
16	09:56:30.0	BO	19.32	0	0		
17	09:56:30.5	440.6	17.35	0	0	M	
18	09:56:31.0	23.9	15.22	0	0		
19	09:56:31.5	22.6	13.41	0	0		
20	09:56:32.0	22.3	11.7	0	0		
21	09:56:32.5	22	10.11	0	0		
22	09:56:33.0	21.8	1	0	0		
23	09:56:33.5	21.7		0	0		
24	09:56:34.0	21.7		0	0		
25	09:56:34.5	21.7		1	0	M	
26	09:56:35.0	21.7		1	0		
27	09:56:35.5	21.7		1	0		
28	09:56:36.0	21.7		1	0		
29	09:56:36.5						
30	09:56:37.0						
31	09:56:37.5						

※注意

熱電対・測温抵抗体のデータの精度は温度設定によって下表のようになります。

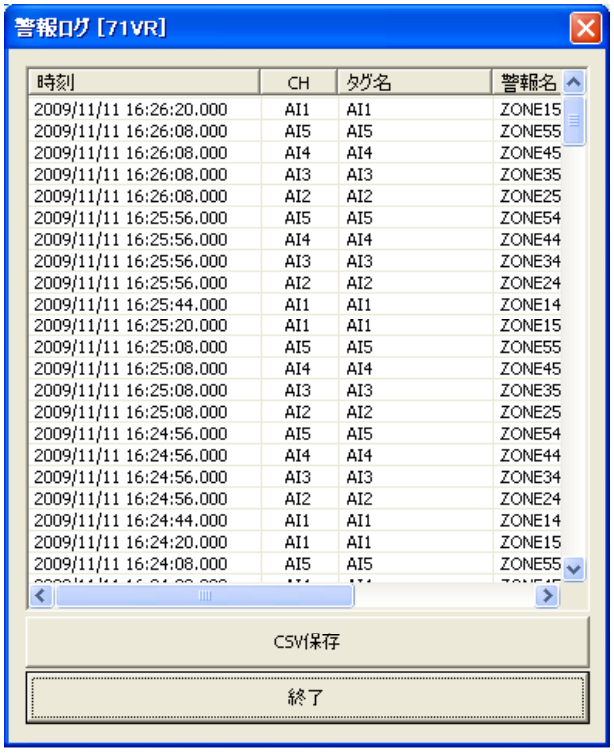
温度設定	データの精度
摂氏（C）	少数点以下 1 桁
華氏（F）	整数（少数点以下なし）
絶対温度（K）	少数点以下 1 桁

※1　CSV ファイルを Microsoft Excel で表示する場合、時刻を表示しているセルの表示形式を変更することで、「年/月/日 時:分:秒.ミリ秒（yyyy/mm/dd hh:mm:ss.000）」などのフォーマットで表示することができます。

8　警報ログ

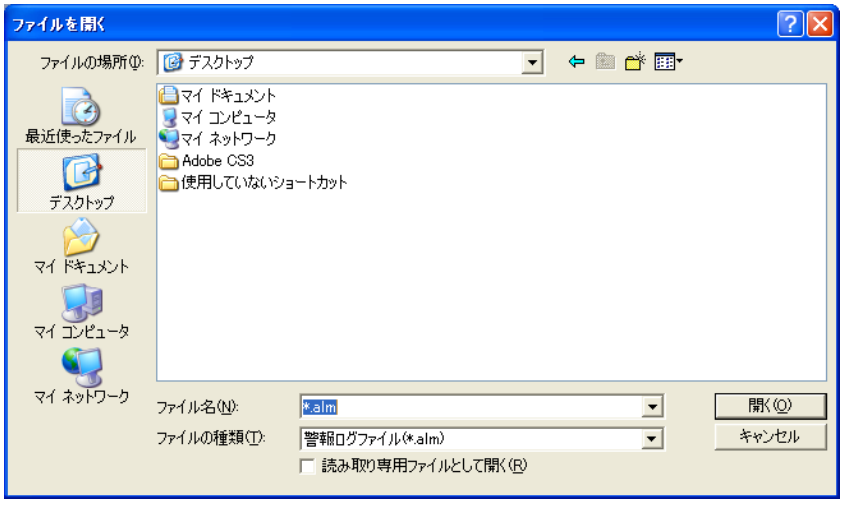
8.1　読み出し（本体）

メインダイアログより警報ログの【読み出し（本体）】ボタンをクリックすると、赤外線経由で本体の警報ログを読み出した後以下の画面を表示します。



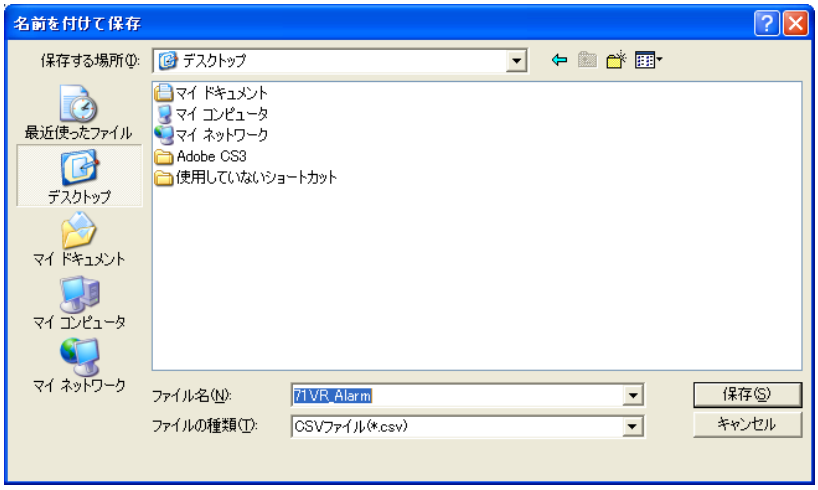
8.2　読み出し（ファイル）

メインダイアログより警報ログの【読み出し（ファイル）】ボタンをクリックすると以下のファイルダイアログを表示し、本体から取り出したメモリカードに保存された 71VR_Alarm.alm を選択すると上記警報ログダイアログを表示します。



8.3　CSV 保存

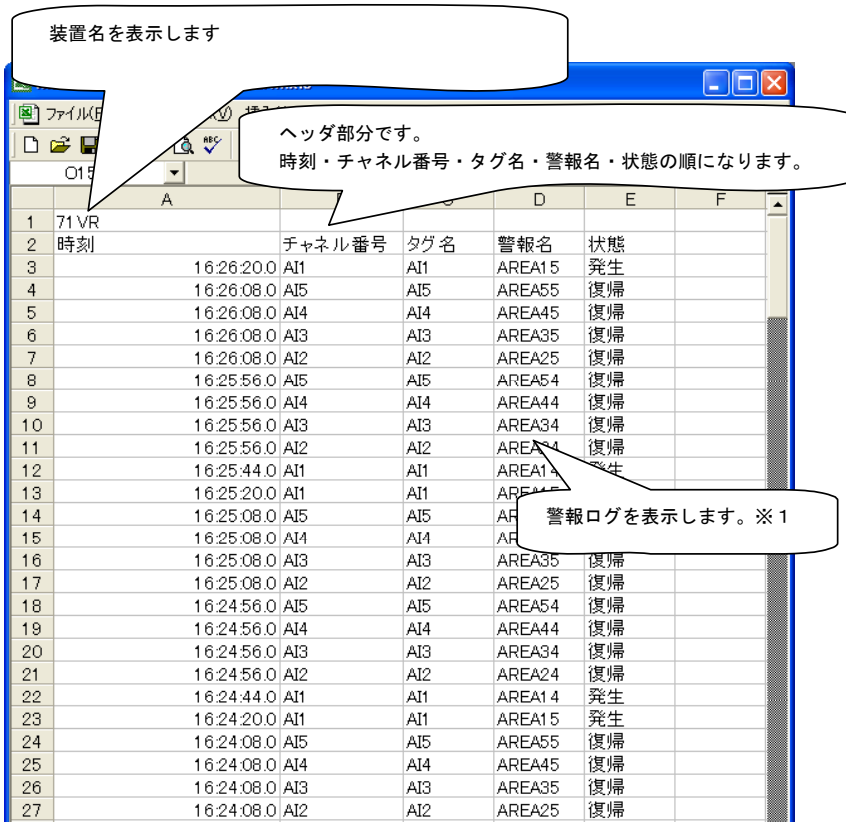
警報ログのダイアログより【CSV 保存】ボタンをクリックすると下記ファイルダイアログを表示し、【保存】ボタンをクリックすると CSV 保存を行います。



71VRCFG バージョン 1.□□で CSV ファイルを作成し、Microsoft Excel で表示した場合

	A	B	C	D	E	F
1	71 VR					
2	時刻	チャネル番号	タグ名	警報名	状態	
3	2009/11/11_16:26:20_000	AI1	AI1	AREA15	発生	
4	2009/11/11_16:26:08_000	AI5	AI5	AREA55	復帰	
5	2009/11/11_16:26:08_000	AI4	AI4	AREA45	復帰	
6	2009/11/11_16:26:08_000	AI3	AI3	AREA35	復帰	
7	2009/11/11_16:26:08_000	AI2	AI2	AREA25	復帰	
8	2009/11/11_16:25:56_000	AI5	AI5	AREA54	復帰	
9	2009/11/11_16:25:56_000	AI4	AI4	AREA44	復帰	
10	2009/11/11_16:25:56_000	AI3	AI3	AREA34	復帰	
11	2009/11/11_16:25:56_000	AI2	AI2	AREA24	復帰	
12	2009/11/11_16:25:44_000	AI1	AI1	AREA	発生	
13	2009/11/11_16:25:20_000	AI1	AI1	AR		
14	2009/11/11_16:25:08_000	AI5	AI5	A		
15	2009/11/11_16:25:08_000	AI4	AI4	A		
16	2009/11/11_16:25:08_000	AI3	AI3	AREA35	復帰	
17	2009/11/11_16:25:08_000	AI2	AI2	AREA25	復帰	
18	2009/11/11_16:24:56_000	AI5	AI5	AREA54	復帰	
19	2009/11/11_16:24:56_000	AI4	AI4	AREA44	復帰	
20	2009/11/11_16:24:56_000	AI3	AI3	AREA34	復帰	
21	2009/11/11_16:24:56_000	AI2	AI2	AREA24	復帰	
22	2009/11/11_16:24:44_000	AI1	AI1	AREA14	発生	
23	2009/11/11_16:24:20_000	AI1	AI1	AREA15	発生	
24	2009/11/11_16:24:08_000	AI5	AI5	AREA55	復帰	
25	2009/11/11_16:24:08_000	AI4	AI4	AREA45	復帰	
26	2009/11/11_16:24:08_000	AI3	AI3	AREA35	復帰	
27	2009/11/11_16:24:08_000	AI2	AI2	AREA25	復帰	

71VRCFG バージョン 2.00 以降で CSV ファイルを作成し、Microsoft Excel で表示した場合



	A	B	C	D	E	F
1	71VR					
2	時刻	チャネル番号	タグ名	警報名	状態	
3	16:26:20.0	AI1	AI1	AREA15	発生	
4	16:26:08.0	AI5	AI5	AREA55	復帰	
5	16:26:08.0	AI4	AI4	AREA45	復帰	
6	16:26:08.0	AI3	AI3	AREA35	復帰	
7	16:26:08.0	AI2	AI2	AREA25	復帰	
8	16:25:56.0	AI5	AI5	AREA54	復帰	
9	16:25:56.0	AI4	AI4	AREA44	復帰	
10	16:25:56.0	AI3	AI3	AREA34	復帰	
11	16:25:56.0	AI2	AI2	AREA24	復帰	
12	16:25:44.0	AI1	AI1	AREA14	発生	
13	16:25:20.0	AI1	AI1	AREA15	発生	
14	16:25:08.0	AI5	AI5	AR		
15	16:25:08.0	AI4	AI4	AR		
16	16:25:08.0	AI3	AI3	AREA35	復帰	
17	16:25:08.0	AI2	AI2	AREA25	復帰	
18	16:24:56.0	AI5	AI5	AREA54	復帰	
19	16:24:56.0	AI4	AI4	AREA44	復帰	
20	16:24:56.0	AI3	AI3	AREA34	復帰	
21	16:24:56.0	AI2	AI2	AREA24	復帰	
22	16:24:44.0	AI1	AI1	AREA14	発生	
23	16:24:20.0	AI1	AI1	AREA15	発生	
24	16:24:08.0	AI5	AI5	AREA55	復帰	
25	16:24:08.0	AI4	AI4	AREA45	復帰	
26	16:24:08.0	AI3	AI3	AREA35	復帰	
27	16:24:08.0	AI2	AI2	AREA25	復帰	

※1　CSV ファイルを Microsoft Excel で表示する場合、時刻を表示しているセルの表示形式を変更することで、「年/月/日 時:分:秒.ミリ秒（yyyy/mm/dd hh:mm:ss.000）」などのフォーマットで表示することができます。

9　変更点のお知らせ

9.1　バージョン 2.0 から 2.01 への変更点

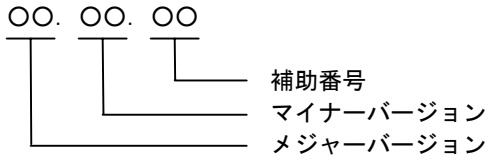
・アナログ警報名の初期設定値が「AREA」から「ZONE」になりました。

9.2　バージョン 2.01 から 2.02 への変更点

・出力チャネルを全て「なし」に設定した状態でアナログ、デジタル警報設定を行った場合、71VR1 本体で設定を読み込む際にエラーとなる問題を修正しました。

9.3　バージョン 2.02 から 3.01.〇〇 への変更点

・サンプリング間隔に「20s／30s／1min／5min／10min／20min／30min／1hour」を追加しました。
・入力チャネル設定ダイアログに「Modbus ファンクション」を追加しました（SC200、SC210 をサポート）。
・設定値ダイアログに「表示設定」を追加し、ゼロサプレス（デジタル表示）設定と、自動画面切替設定を追加しました。
・自動画面切替設定ダイアログを追加しました。
・バージョン表記を〇〇．〇〇から〇〇．〇〇．〇〇に変更しました。



9.4　バージョン 3.01. 〇〇 から 3.02.〇〇 への変更点

・設定をメモリカードに保存し、本体でメモリカードから設定を読み込む際、メジャーVer1、マイナーVer0～3 の本体で読み込みに失敗する問題を修正しました。

9.5　バージョン 3.02. 〇〇 から 3.03.〇〇 への変更点

・設定値ダイアログの「表示設定」にスクリーンセーバー設定を追加しました。

Microsoft、Excel は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または、商標です。